

平成20年度 市民活動推進基金助成事業審査結果(後期募集)

事業名	発達障がい児の保護者への電話・メールによる 相談及び発達相談事業
団体名	(特活)チャイルズ
事業概要	電話相談・メール相談・発達相談の各相談窓口を設置し、発達障がい児の保護者への相談業務や育児支援、早期療育など幅広く実施できるよう体制整備を行い、保護者への家庭支援を積極的に実施していく。
委員講評	<ul style="list-style-type: none"> ・苦悩する親への支援は重要であり、発達障がい児への理解も深まる。 ・切実な福祉課題ニーズに寄り添ったプラン。 ・どういう結果を構築できるか不明な感じもあるが、まず実践する必要性は理解される。

事業名	温もりの循環型社会を目指して(Pay it Forward) 最初の一步「居場所づくり(サロン)」と 「みんなで収集ボランティア運動」
団体名	配食サービス スバル
事業概要	高齢者や障害者が気軽に立ち寄れる居場所(サロン)をつくり、支援の担い手である市民とも親しく交流できて「思い」を共有できるようお手伝いをするとともに、そのサロンを拠点に、みんなで取り組める「収集ボランティア運動」を展開する。
委員講評	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会において、集うことのできる空間づくりは重要である。 ・場所を提供するサービスは大切である。 ・今後スバルならではの特色を出すことに工夫していただきたい。 ・居場所づくりそのものは先駆性は高くない。自己資金などの資金面に不安がある。

事業名	自死遺族の会運営事業
団体名	(特活)国際ピフレンダーズ・大阪自殺防止センター
事業概要	家族を自殺でなくされた方々の誰にも話せない感情を同じ経験を持つ方々と分かちあうことにより、少しでも辛い気持ちを解消し新たな自殺を防止することができる。理解してもらえる場で自分の思いを話したいという遺族の要望と会場増設の要望が強いため、新たに担当するスタッフの研修を実施するとともに、新たな会場での運営を行う。
委員講評	<ul style="list-style-type: none"> ・重いテーマで波及性には時間がかかるかもしれないが、着々と進めてもらいたい。 ・当基金としてぜひ支援すべき事業。 ・先駆性では、他の団体の取り組みもあると思われる。スケジュールが明確でない。